



# スピリット 常中魂

平成28年 9月30日 NO.34  
〒311-1114 水戸市塩崎町1016  
TEL029-269-2116  
FAX029-269-3160  
Mail tunezumi-j@magokoro.ed.jp

【ホームページで、カラー版が見られます】

## 新人体育大会の主な結果

男子バスケットボール部  
○対石川中 63 : 46 勝利  
●対緑岡中 46 : 61 惜敗

女子バスケットボール部  
○対内原中 49 : 47 勝利  
○対五中 60 : 56 勝利  
●対石川中 39 : 49 惜敗  
●対四中 47 : 74 惜敗  
(中央地区大会進出)

野球部  
○対四中 8 : 0 勝利  
●対千波中 2 : 6 惜敗

サッカー部  
○対一中 2 : 1 勝利  
●対笠原中 2 : 3 惜敗  
●対四中 1 : 2 惜敗

ソフトボール部  
○対四中 6 : 5 勝利  
●対見川中 5 : 6 惜敗  
○対双中 14 : 4 勝利  
●対赤塚中 0 : 10 惜敗

バレーボール部  
○対三中 2 : 0 勝利  
●対笠原中 0 : 2 惜敗  
●対附属中 0 : 2 惜敗

男子テニス部  
<個人>  
林・増田組 ベスト16  
(中央大会進出)

<団体>  
○対見川中 2 : 0 勝利  
●対赤塚中 1 : 2 惜敗  
○対緑岡中 2 : 1 勝利  
(中央地区大会進出)

女子テニス  
<団体>  
●対飯富中 1 : 2 惜敗  
●対笠原中 0 : 3 惜敗

卓球部  
○男子 団体 8位  
(中央地区大会進出)

○女子 団体 10位  
(中央地区大会進出)



ベンチの中だからこそ、思いは強い



大声で指示を出す 三浦キャプテンの姿

ベンチの中から、大声で指示を出す三浦さんの姿を見た。彼は怪我をして試合には出られない。しかし、腐ること無く、気持ちを折ること無く、チームメイト一人一人に声をかけ続けていた。「カッコいい！」そう感じた。「がんばれ秀介、がんばれ野球部、がんばれ常中生」見ている者の心から、こんな言葉が自然と湧き出てきた。



野球部キャプテン 三浦 秀介

# 見えないうらみで

僕は、腰をかがしています。新人戦に向けみんなが一生懸命練習していた時でさえ、僕はほとんど練習に参加できませんでした。ただ見ているだけしかできなかったのです。その時の僕は、内心悔しい気持ちでいっぱいでした。正直、どうせやらないのに、わざわざ練習に行くなんて面倒くさいと思ってしまいました。

ですが、みんなからキャプテンという、とても大切な役割を任せられました。けがをしていてなんにもできていないのに、とても重要な役割をみんなは僕にくれました。そういうことを考えると、ちよつとでも「練習に行くのが面倒くさい」と思ってしまつた自分が情けないと思ひ直しました。とてもみんなに悪いという思いが湧いてきたのです。そこで、これからの自分についていろいろ考えてみました。「自分でできることを、積極的にやろう。少しでもチームの支えになれるようにがんばろう。」そう思ひ直しました。

そして新人体育大会がやってきました。チームメイトは、みんな一生懸命頑張っていました。僕も、試合に出ることはできませんが、それだからこそ、その

の分一生懸命に応援しました。結果は一回戦で全員一丸となった攻撃で、水戸四中に8対0で勝利することができました。とてもうれしかったです。

二回戦では、惜しくも敗れてしまい、口惜しい気持ちも味わいました。しかし、この経験を忘れずに、これからの練習には、今以上に力を入れていきたいと思いました。

僕自身も、怪我を治し一日でも早く選手として復帰したいです。しかし焦らずに、野球部のみんなと全力でプレーできる日が来るこ



